

## シラバス

授業のタイトル(科目名) 精神医学 I		授業の種類  ( 講義 ・ 演習 ・ 実習 )		授業担当者  肥後成美
授業の回数  15回	時間数(単位数)  30時間(2単位)	配当学年・時期  3年1学期		必修・選択  選択
<p><b>【授業の目的・ねらい・到達目標】</b></p> <p>脳の基本構造を把握し、個々の部位の総合作用として我々の精神が発動していることを学ぶ。脳の構造と機能を結びつけることで、精神障害の病態像、治療法などに対するより深い理解力を育むことができ、そことが障害を持つ人達と接する医療者としての適格な人間形成にと繋がると考える。特定の教科書に沿った説明はせず、講義内容・配布資料を積み重ねることで一冊の新しい教科書が完成するような内容を目指す。</p>				
<p><b>【授業計画】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 精神医学の神経科学的基礎(脳の巨視的構造)</li> <li>2 精神医学の神経科学的基礎(脳機能に対する概念の歴史の変遷)</li> <li>3 精神医学の神経科学的基礎(神経細胞の形態学的・生理学的特徴、神経伝達物質)</li> <li>4 精神医学の神経科学的基礎(大脳皮質の働き、分離脳)</li> <li>5 精神医学総論(精神医学の歴史)</li> <li>6 精神医学総論(精神障害における症状)</li> <li>7 精神医学総論(精神障害における症状)</li> <li>8 高次脳機能障害(失語、失行、失認、前頭葉症候群、側頭葉症候群)</li> <li>9 精神科治療学(歴史、電気けいれん療法、薬物療法、精神療法、作業療法)</li> <li>10 器質性精神障害(大脳皮質変性疾患による認知症、脳血管性認知症、脳の感染症、頭部外傷)</li> <li>11 器質性精神障害(中毒、脳腫瘍、正常圧水頭症)</li> <li>12 身体疾患に基づく精神障害(代謝障害、膠原病、内分泌疾患)</li> <li>13 身体因精神病(てんかん:概念、疫学、病因)</li> <li>14 身体因精神病(てんかん:分類、検査、治療)</li> <li>15 精神保健福祉法(入院形式、社会復帰)</li> </ol>				
<p><b>【使用テキスト・参考文献】</b></p> <p>講義で使用したスライドと同じ内容のプリント資料を配布する。 精神医学テキスト:上島匡利・立山萬里/編集、南江堂 標準精神医学:野村総一郎他/編集、医学書院</p>			<p><b>【単位認定の方法及び基準】</b></p> <p>期末試験の成績で判断する。</p>	